

新しい年のはじめりに、 平穩無事への願いをこめて。

みなさま、新年明けましておめでとうございます。コロナ禍に翻弄された昨年でしたが、スポーツ界をはじめ明るいニュースも多く、今年はより一層素敵な一年となることを願っています。新しい年のはじめりに欠かせない初詣について、境町伏木の地で600年を超える歴史を誇る伏木香取神社の神職・田所克敏さんご夫妻にお話を伺いました。

その土地を守る氏神様への感謝の気持ちを大切に

伏木香取神社の御本社は、千葉県香取市に鎮座する下総国一宮香取神宮。その御分霊を境町伏木の地にお迎えしたことが伏木香取神社の起りです。御祭神の経津主大神は、家内安全や心願成就、災難除けなどの御神徳で名高く、古くから地元の人々に親しまれ信仰をあつめてきました。また、境内社のひとつである浅間神社には利根川流域の一部地域のみに見られる初山信仰が伝わり、富士山の山開きの日に子ども達の健やかな成長を願って額に朱印をいただく「初山祭」がおこなわれています。

「初詣に限らず、神社をお参りするときには多くの方が何かしらの祈願や立志をもって訪れるものです。それは結構なことですが、それぞれの土地の神様は、個



▲伏木香取神社
(右)田所 克敏さん(左)田所 千草さん
禰宜夫妻

オリジナルの御朱印を 神社参拝のきっかけに

神社に親しみをもってもらい、参拝が日常となるきっかけづくりのため、伏木香取神社では3種類の御朱印を頒布しています。そのひとつが、月詣りの御朱印。旧暦の朔日と15日、すなわち新月と満月の日から3日間限定でいただける御朱印で、お月様とその月の異名が書かれています。

「人間はこの世界の頂点に立つものではなく、自然界のなかで生かされている命のひとつ。それを理解し、自然や神様に敬意をもってほしいとの想いを御朱印にこめました」と田所さん。日々姿を変える月をテーマとすることで、大自然の営みや季節の移ろいなど現代に暮らす私たちが忘れがちなものを意識させることが狙いです。ほかにも、季節行事や「勝ち虫」と呼ばれるトンボを描いた御朱印も用意されており、それぞれ月の節目にデザインが変わる御朱印を楽しみに訪れる参拝

客も増えたそうです。「節句や季節行事には、日本伝統の文化が息づいています。御朱印はスタンプリングではありませんが、集める楽しさが参拝のきっかけとなるとともに、自国の文化や日本ならではの四季を改めて見直す機会になれば嬉しいですね」

ちなみに、お正月の御朱印に描かれるのは千支の寅。かわいらしい図案は田所さんが知人のイラストレーターに「まつ毛ばっちり」と依頼してデザインしてもらったもので、ここにも多くの人に親しみをもってもらいたいとの想いがこめられています。

初詣は心を洗い清める場 ゆとりをもって参拝を

初詣は、新しい年の始まりという節目を機に神社や寺院へ参拝し、一年の幸せや平穩を祈願する日本の伝統行事です。そして、田所さんにお話しただけのように何か特別なことを願うだけではなく、無事に過ごせる日々への感謝を捧げる場や、気持ちをリセットして心を軽やかにする場でもあります。だからこそ、時間と気持ちにゆとりをもって出かけるのがベター。お参りの列や駐車場の渋滞にイライラすることのないよう、三が日や松の内にとだわることなく自分が余裕



< 伏木香取神社の御朱印3種をご紹介 >

●月詣りの御朱印

旧暦の朔日(新月)と15日(満月)から3日間限定でいただける御朱印。自身が最初に月詣りの御朱印を受けてから一年間すべての月詣りの御朱印を受けると「満願月詣り」の御朱印と神社オリジナル御朱印帳をいただくことができます。

●勝ち虫の御朱印

前にしか進まず、害虫駆除にも役立つトンボは「勝ち虫」と呼ばれ、縁起がいい虫と言われています。また、香取神社の神様は勝運の神としての武徳でも知られることから、トンボをモチーフにしています。

●季節行事の御朱印

3月3日の桃の節句や5月5日の端午の節句など1年間の5つの節句をはじめ、季節をテーマにした御朱印。初山祭や天王祭などの祭事の時期にも、その期間限定の特別な御朱印が頒布されます。



▲地名である“伏木(ふせぎ)”にちなんだお守り。災い、病気、けが、ぼけ、事故、争いなど諸難をふせぎ、平安な暮らしをもたらします。



▲絵付け石「伏木のおはじき」
神社の石に縁起の良い絵を千草さんが一つひとつ心を込めて丁寧に描き、お祝いでいます。“おはじき”とは災厄を弾き飛ばす意味があります。

伏木香取神社

茨城県猿島郡境町伏木1 ※カーナビは境町伏木37

☎0280-86-5026

最新情報はSNSをご覧ください

Facebook「伏木香取神社」で検索 | Instagram @fusegi.katorijinja



公式サイト

御朱印・お守・お札は神社左隣の宮司宅にて

墨書・頒布を受けられます。

<受付時間> 9:00~16:00

をもって参拝できる日を選んで出かけましょう。また、コロナ禍が落ち着いてきたとはいえ、マスクの着用や手指の消毒などの感染症対策も忘れなく。合格祈願は天神様、商売繁盛はお稲荷様というように、その道に強い神様や有名な神社へ参拝するのもいいですが、「まずは地元の神様へご挨拶するのが礼儀」と田所さん。皆さんも今年はずいぶん神様へ最初に訪れ、静かな心でお参りして新しい年を迎えてみてはいかがでしょうか。